TBSテレビ総務局広報部

03-3746-1111 2017 **年** 1 **月** 12 **日**



TBS テレビとベトナム国営放送 VTV 料理バラエティ番組を共同制作

TBS テレビと JNN(TBS テレビ系列)5 局は、ベトナム国営放送 VTV テレビと共同で、 日本の地方の魅力をベトナムに向けて紹介する番組の第二弾を制作します。シーズン 2は、日本の食材を用いた料理バラエティ番組で、2月3日からベトナムの総合チャンネ ル VTV3 で放送を開始します。

この番組は、ベトナムの人気俳優グェン・ダン・トゥン氏が日本の食材を求めて 7 地域を訪れ、地元を代表する食材を収穫から調理まで紹介する料理バラエティです。取材する地域に在住するベトナム人を通じて、観光名所や名産品など地域の魅力を紹介するとともに、地域の食材を用いた郷土料理を紹介するほか、同じ食材を用いて在住ベトナム人とベトナム向け番組オリジナルの料理作りに挑戦します。

この共同制作番組は、一般社団法人 放送コンテンツ海外展開促進機構の協力を得て実施されるもので、放送を通じて日本全国の地域の魅力をベトナムの視聴者に発信するとともに、ベトナム人観光客の日本に向けた誘客促進を図っています。

PR 協力: インバウンド専門サイト『Deep Japan』 http://www.deepjapan.org/ ベトナム人向けフリーペーパー『ADVENTURE JAPAN』 http://www.adventurejapan.jp/ オリジナルレシピ掲載『Cookpad(ベトナム版)』 https://cookpad.com/vn

■制作: TBS テレビと JNN (TBS テレビ系列) 5 局 TBS テレビ、JNN5 局【新潟放送(BSN)、静岡放送(SBS)、RKB 毎日放送(RKB)、大分放送(OBS)、南日本放送(MBC)】

■番組概要

番組名: 『 Sắc màu Nhật Bản 2(英題:The Colors of Japan 2)』

放送局: ベトナム国営放送 VTV3 毎週金曜 16時00分~16時30分

放送予定: 2月3日(金)~3月24日(金)全8回







番組内容: 日本各地の「食材」をテーマに、ベトナム人気俳優(グェン・ダン・トゥン)が 各地を訪れ、系列局のアナウンサーと観光名所・名産物などの魅力を発信 するとともに、食材の収穫から調理までを紹介する料理バラエティ番組。 取材地域: 新潟県、茨城県、神奈川県、静岡県、福岡県、大分県、鹿児島県

- ■新潟県(村上市)「村上の登り鮭」 伝統の「鮭漁」を体験。地域の文化・歴史をともに築いてきた鮭の郷土料理を紹介。
- ■茨城県「名産さつまいもと納豆」 出荷量日本一のさつまいもを収穫。外国人向けに進化する納豆の魅力を紹介。
- ■神奈川県(小田原・箱根編)「かまぼこ」 600年前から親しまれてきた庶民の食材「かまぼこ」を生んだ風光明媚な地域を紹介。
- ■神奈川県(湘南編)「しらす」 炊き立てのごはんと愛称抜群の旬の「しらす」を求め、湘南の海でしらす漁を体験。
- ■静岡県「桜えび」 海の宝石ともよばれ、駿河湾でしか水揚げできない貴重な桜えびを紹介。
- ■鹿児島県「養殖かんぱち」 伝統的な技法で脂とうま味が凝縮され身の引き締まった鹿児島かんぱちを紹介。
- ■大分県(別府)「大分かぼす」 日本一の生産量と出荷量を誇り、大分県民がこよなく愛する「かぼす」の魅力を 紹介。
- ■福岡県(福岡市)「唐泊の恵比須かき」 九州最大の都市「博多」の魅力と栄養豊富な博多湾の「牡蠣」の料理などを紹介。

【参考】

TBS オンライン・カタログ: http://www.tbscontents.com/en/ (リニューアルサイトです) TBS海外番販公式フェイスブックページ: http://www.facebook.com/tbs.intl.sales TBS 海外番販公式ツイッター: https://twitter.com/TBS_prosales

【TBS 海外事業について】

TBS は 1960 年代以降 50 年あまりにわたり海外番販に積極的に取り組んでおり、特に「フォーマット番販」の分野では世界的にも草分け的な存在。これまで米 Bellon Entertainment 社と共同で、世界 160 を超える国・地域で 200 種類近く、数千話におよぶ「フォーマット番販」による TBS 番組の各国版制作を実現しており、各国で国民的な人気を博した番組も多数。またドラマやアニメなど多ジャンルの番組や映画を販売しており、累計の販売実績は、世界 5 大陸 160 を超える国・地域で数百タイトル、数万話におよび、テレビ・映画ともに「コンテンツ・プロバイダー」としての世界におけるプレゼンスを増しています。また、近年は共同制作や配信、早期販売にも力を入れ販路を拡大しています。